

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

代表質問

重点施策を推進する中で重視している取り組みは

市の活性化のため、伊良湖温泉を起爆剤として活用していく



大竹 正章

自由民主党田原市議団



令和4年度施政方針について

問 行政は社会、経済の動向へ柔軟に対応しつつも、大きなビジョンに向かい邁進しなくてはならないと考えるが、今後の展望への基礎的な考え方は。

答 本市を支える農業、漁業、工業、商業など基幹産業の振興が必須となる。中でも、本市における重要な観光拠点である伊良湖地区を重点的に整備することで、吸引力のあるエリアとして人を集め、人と経済効果を市内全体へ波及させ、経済の好循環を生み出していきたいと考えている。

問 社会構造の変化に戦略的に対応し、地域産業の回復を目指す施策を着実に推進する上で、中長期にわたる財政計画、投資計画の必要性と歳入確保への取り組み、全市的な事業見直しが強く求められると考えるが、今回の予算編成にどのように生かされているのか。

答 総合計画の実施計画において、向こう3カ年に取り組むべき主要な事業を整理し、長期的な展望に立ち予算を編成したことで、投資的経費など必要な予算の確保ができたと考えている。企業立地や地域産業の育成につながる事業に予算を配分し、将

来に向けた安定的な税収を確保するとともに、国・県の政策に基づく補助金制度などを積極的に活用していく。また、市民目線により事業の必要性や優先度を考慮するとともに、より効果的な実施方法を検討するなど、全ての事業について、ゼロベースで見直しを行った。

問 予算大綱の中の3つの重点施策に基づき、それらを推進する事業を選択したと考えるが、意図する方策、その中でも重視している取り組みは。

答 「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」では、市全体の活性化に寄与するよう、伊良湖温泉を起爆剤として活用し、「住み続けたいまちづくり」では、最優先として新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を迅速に進めるとともに、教育環境の充実や子育て支援などについて、さらに力を入れて取り組んでいく。「未来につながるまちづくり」では、新たな価値として、地域全体の活性化に向け、あらゆる分野におけるデジタル技術の活用と脱炭素社会の実現を目指した取り組みをスタートさせていく。